

■□ 実践報告Ⅲ

県内生協の協同連帯で進める 福祉介護

高田 公喜（広島県生活協同組合連合会専務理事）



はじめに

私の報告は、実践報告というよりも、設計図段階で考えていることやアセスメントしている状況を踏まえての問題提起としてお話しすると捉えていただければ幸いです。

また、「広島県生協連なら、話のテーマは『平和』だろ？なぜここに立っているのか？」と思われるかもしれませんが、この研究所の「くらし福祉研究会」からリクエストをいただいたのと、7～8年前に日本生協連で福祉事業の推進にあたっていたキャリアがありますので、そういう意味からも、今日はトータルに広島県生協連で考えていることをお話しさせていただきます。

1. 地域から生協をみる

まず私の問題意識ですが、「生協から地域を見る」という視点よりも、「地域から生協を見たらどうなのだろう」ということをそろそろ考える時期ではないかというのが最大の問題意識です。それで、広島県連では、広島市の区長クラス、地元の地方新聞の論説クラス、地元大学の教授など学識者の方々に入っていて、「地域活性化研究会」を開き、「どういうふうに見られているのですか」ということを問いました。

その報告もしたいのですが、それはまたの機会にお話させていただくとして、ひとつ見えてきたのは、生協からの見方と地域からの見方は全然違うということです。一例を挙げますと、われわれは購買生協としての考え方でものを見たり、医療生協としての考え方でものを言ったりしますが、地域の人は両方の見方を知っていますから、「地域で生協はこういうふうに見られているんだよ」ということを知っています。その視点がわれわれには足りない、ということに気づかされるわけです。言い換えれば、地域と生協が今後どのように関わっていくのかということです。

私自身は、大半を20世紀を生きてきた人間ですが、いまは21世紀です。ほとんどの市民生協は30～50年の歴史を持っていますが、これからの50年をどのように地域貢献できるのか、という長期的視点で地域はどのように変貌していくのか。そのことをある程度理解してうえで、生協として地域循環型の社会・経済システムに参加していくか、という問題意識を持っています。

結論から言えば、これからの生協は日常生活圏域を意識した事業と活動が必要ではないかという問題提起をしたいと思っています。また、懐かしさもある未来型の事業をつくっていけばいいのではないかと、ということも考えています。これについては後で説明させていただきます。

2. 誰もが安心してくらせる 持続可能な地域コミュニティ の再生をめざして

(1) 「地域社会の関与」と

「セーフティーネットの形成」

「誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生をめざして」は、広島県生協連のキーワードであり、「2020年ビジョン」でも掲げています。このビジョンには2つの柱があります。ひとつは「地域社会への関与」ということ、すなわちFEC自給圏（「食・農業（Foods）」「環境・エネルギー（Energy）」「福祉・医療（Care）」の自給圏）をつくるために生協がどのように関わられるのかということです。

もうひとつは、防災、消費者被害防止などを含めた、「地域セーフティーネットの形成」です（図表1参照）。

広島県では、昨年（2014年）8月20日に大きな土砂災害があり、みなさんから多くの義援金をいただきました。本当にありがとうございました。

「ビジョン」2つの柱

1. 地域社会への関与

「食・農業」（Foods）

「環境・エネルギー」（Energy）

「福祉・医療」（Care）

2. セーフティネットの形成

防災、消費者被害防止

図表1：2020年ビジョン

(2) Care「福祉・医療」

福祉・医療の分野では、地域での人と人とのつながりがポイントであり、先ほど報

告されたコープこうべさんやコープあいちさんと共通しているのは、地域資源の一翼として生協がどのように関わられるのかという実践事例だと思います。

私も日本生協連時代によく、「福祉は住まいであり、住まいなくして介護はない」と言っていましたが、やはり住まいがすべてだと思います。その分野に生協がどう事業や活動を展開できるか。高齢化の時代だからこそ大事な事業分野だと思います。たとえば地域アセスメントをきちんとした上で課題提起ができていくかということ、購買生協はなかなか厳しいものがあるのではないのでしょうか。医療生協は地域では購買生協とまた異なる影響力を持っていて、連携しろとよく言われるけれども、その連携の仕方がわからない。同じ生協でもそういうきっかけがないのではないかと思います。

たとえば昨年、生活支援コーディネーター中央研修がありました。これは厚生労働省が募集して、各都道府県から5～6名の専門員が参加したのですが、広島の場合、県社協、介護支援専門員会や地域包括支援センター、老健施設などとともに、県生協連が参加しました。実は私が生活支援コーディネーター養成指導員になったのですが、平成26～29年の3カ年をかけて地域支援コーディネーターを育成し、自治体が日常生活圏域（中学校区単位）で組織づくりをやります。こうした動きの中に生協がどのように関わられるかが大事で、地域包括ケアの視点は非常に重要になると思います。

3. 県生協連のこの間の取り組み

この間の県生協連の取り組みについて、5点ばかりの重点をご紹介します。次の問題提起とさせていただきます。

（１）2012 国際協同組合理年（IYC）

ひとつは2012年に国際協同組合理年がありました。そこで全国的な取り組みをいろいろやりましたが、広島県の場合は、広島県協同組合連絡協議会をつくって30年間一緒に活動してきましたので、国際協同組合理年であらためて名刺交換をして、「よろしくお願いします」と挨拶する必要はありませんでした。むしろ、顔と名前と性格が一致するなかで、「何をやろうか」と話し合うかたちで進んだので、広島県ではアクションプランをつくって、いまま進行形で進んでいます。

たとえば「地産地消の実践はどういうふうにしようか」とか、「福祉についてはどうしようか」と論議しているわけですが、福祉分野では毎年、実践交流会を開いています。社協、NPO、医療生協、購買生協などが一緒になって、地元の中国新聞社から平井さんという記者さん（現在は論説委員）にも来ていただいて、自分たちはどのような考え方でやるのかということをお互いに意見交換できる場面をつくったわけです。

（２）地域活性化研究会

「地域活性化研究会」のテーマは「これからの生協は地域コミュニティにどう関わるか」です。私の感覚で言えば、地域包括ケアは、実は地域づくりであり、地域づくりに生協がどのように関われるのか、どんな資源を持っているのか、あるいはもしかしたら資源をもっているが地域の声を無視しているのか、そんなことも含めて研究会を立ち上げて、いろいろお聞きしたら「生協は、高い加入率を持っているのに、今後どう使うんですか」と、非常に手厳しい意見をもらいました。もっている資源は本気で活用を考えなければなりません。

（３）生協版地域包括ケア研究

ワーキンググループ

そこで広島県連で立ち上げたのが「生協版地域包括ケア研究ワーキンググループ」です。浜岡先生からもお話があったように、国は2025年に向けて「地域包括ケアシステム」を構築しようとしています、国が言っていることをやるのではなくて、「われわれは地域をどのように考えるのか」という視点で課題化をすることが大事だと考えたからです。

つまり、「住民主体の地域包括ケアが必要ではないか。これをどのようにするのか」ということで、ワーキンググループでいろいろな論議をしました。まず、「くらしを総合的に支える」ということです。日本生協連が2009年に書いたものにも同等の表現があります。

ワーキンググループの結論から言えば、生協として「日常生活圏域」ごとに分析し、計画を立て、それによって事業課題や活動課題を導き出していくことが必要だろうということでありました。それは「組合員さんのニーズ」という言葉に置き換えることができます。

ワーキンググループでは、結論として以下の「アクションプラン」を出しました。

- ①日常生活圏域ごとの政策、事業・活動計画の策定に取り組む。日常生活圏域ごとの地域分析。生協の資源リストを日常生活圏域ごとに再整理。
- ②行政の整備計画に沿った地域密着サービスや居住系サービスの計画、申請を医療生協と購買生協の連携で進める。
- ③組合員の力を生かした生活支援サービスの開発や、生活支援コーディネーターの養成を医療生協と購買生協の連携で進める。

新しいことに取り組むとき、生協の理事会では地域のデータを示すところから話が始まります。「地域はどんな状況で、どんなことが課題になっているのか。県生協連では、日常生活圏域（中学校区）ごとに、生協の介護事業所（つまり見えるもの）の数、高齢者人口、高齢化率、一人暮らし世帯数等のデータベースの構築作業を現在しています。（図表2参照）

そうすると、まったく手つかずに近い地域があることがわかります。そういう空白

地域に事業所を出すのか、あるいは地域と連携するのか、自分たちの事業所以外にどんなものがあるのか…地域発見力が備わってくるわけです。これは生協から地域を見ていたのではわからないわけで、地域から見て生協はどうなのかという感覚が日常生活圏域ごとに必要だということです。いま進行している人口減少や高齢化の問題は、それぐらい細かく取り組んでいかなければいけないと思います。もちろん行政が地域の諸団体と連携してです。

日常生活圏域別 3生協の介護事業所配置、基礎情報				2014/9末現在												
日常生活圏域	生協の介護事業所	法人	組合員数・居宅訪問等 利用等	組合員・ボランティア活動等	高齢者 者人口	高齢 化率	一人 暮らし 高齢者	75歳以 上人口	対65歳 以上人口	在宅 支援 診療所	ケア・ 付帯 設備	認知 症OH	小規 模多 機能	介護 付有 料	特別 養護	老人 保健
中区(横町)	訪問看護ステーション基町	中央保健			1,985	43.8%	1,948	1,054	53.1%	1						
中区(国泰寺)	居宅介護支援事業所 訪問介護 福祉用具貸与 障がい者相談支援	ひろしま ひろしま ひろしま			4,959	22.5%	2,334	2,321	46.8%	7	2		3		3	
中区(吉島)					5,573	23.5%	1,189	2,674	49.0%	5	2	3	1	1	1	1
中区(江東)					8,693	23.8%	1,862	4,149	47.7%	6	1	4	2	1	1	1
東区(椿木・清品)					7,588	28.2%	1,079	3,179	41.9%	6	2	4	1		4	2
東区(戸原)					6,511	23.8%	1,126	2,883	44.3%	5		3	1		1	
東区(牛田・早稲田)					5,783	19.7%	1,077	2,747	47.5%	7	1	4	1		2	1
東区(二葉)					8,833	23.4%	1,772	4,075	46.1%	6	1	4		2	4	1
南区(大町)					5,522	21.1%	862	2,458	44.5%	4	3	4	1		1	1
南区(段原)	居宅介護支援 訪問介護	ひろしま ひろしま			5,985	21.4%	1,176	2,906	46.9%	14	2	1				
南区(安町)					7,058	22.7%	1,378	3,496	49.1%	9	1	4	1	1	1	1
南区(仁保・橋脚)					5,915	27.0%	952	2,615	44.2%	6	1	4		3	3	2
南区(宇治・似島)					7,523	22.3%	1,477	3,537	47.0%	14	1		3	2	3	
西区(中広)					7,340	19.8%	1,522	3,355	45.7%	4		5	1	1	3	1
西区(観音)	ヘルパーステーション 訪問看護ステーション・コスモス 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター 福祉用具貸与 デイサービス 観音くはいから坂 介護多機能くおき畑 生協ひろしま訪問介護	中央保健 中央保健 中央保健 中央保健 中央保健 ひろしま ひろしま ひろしま			7,784	22.5%	1,732	3,964	47.0%	9	1	3	1	1	1	1
西区(己斐・己斐上)					7,782	29.1%	1,231	3,730	47.9%	9	2	3		1	2	1
西区(古田)					4,612	16.8%	627	2,008	43.5%	3	2	3		2	1	
西区(庚午)	くさつヘルパーステーション 訪問看護ステーション 草津かもも 事業所(もの居宅介護支援事業所) 基津診療所/デイケア	中央保健 中央保健 中央保健 中央保健			5,393	18.3%	1,075	2,474	45.9%	9	1	4	1			
西区(井口台・井北・城南)					6,386	19.4%	848	2,774	43.4%	3	1	2		1	1	
安佐南区(城山・城南)	まじ訪問看護ステーション 共立よここ保育園	広島医療 広島医療			7,880	18.0%	1,042	3,372	42.8%	10	2	4	1	2	1	1

日常生活圏域	生協の介護事業所	法人	組合員数・居宅訪問等 利用等	組合員・ボランティア活動等	高齢者 者人口	高齢 化率	一人 暮らし 高齢者	75歳以 上人口	対65歳 以上人口	在宅 支援 診療所	ケア・ 付帯 設備	認知 症OH	小規 模多 機能	介護 付有 料	特別 養護	老人 保健
安佐南区(安佐・安佐南)	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 生協ひろしま居宅介護支援 生協ひろしま訪問介護 障害者相談支援	広島医療 広島医療 ひろしま ひろしま ひろしま			8,835	22.9%	1,122	3,713	42.0%	5	3	4	2			
安佐南区(高取北・安西)					9,145	27.8%	1,126	3,900	41.6%	5	1	5		3	1	
安佐南区(東原・城東東)	協同診療所/デイケア デイサービスひまわり ショートステイ 居宅介護支援 ヘルパーステーション/虹	広島医療 広島医療 広島医療 広島医療 広島医療			5,506	13.8%	767	2,324	42.2%	11	3	2	1	1	1	
安佐南区(祇園・長栄)					8,087	17.6%	1,197	3,580	44.3%	3	3	4	1	2	1	
安佐南区(戸山・桂・大南)	沼田診療所/デイサービス	広島医療			6,610	17.0%	571	2,660	40.2%	6	1	3	2	1	5	2
安佐北区(白木)					3,266	37.6%	415	1,702	52.1%	4	1	2			1	1
安佐北区(高岡・島崎・落合)					9,904	27.0%	1,267	4,068	41.1%	4	3	4	2	2	3	2
安佐北区(口田)	あすなろ診療所/デイサービス コブダイサービス/西條くおき畑 生協ひろしま居宅介護支援 生協ひろしま訪問介護 津田診療所居宅介護支援 津田診療所/デイサービス 津田診療所/デイケア	広島医療 ひろしま ひろしま ひろしま 広島医療 広島医療 広島医療			7,145	25.7%	805	2,980	41.7%	3	1	4	1		2	
9,859	27.0%	1,243	4,344	44.1%	6	7	4	2	1	4	1					
安佐北区(亀山)					5,697	27.1%	682	2,391	42.0%	1		4		1	1	
安佐北区(清和・口通)					6,821	34.8%	762	2,889	41.9%	1	3	4	1		3	
安佐区(神野川・安芸区(神野川・船越)					5,010	22.9%	566	2,063	41.0%	2	2	3	2		3	
安佐区(阿戸・矢野)					6,967	27.4%	989	3,182	45.7%	8		4	1		2	
佐伯区(湯来・砂谷)					6,908	20.6%	906	2,935	42.5%	3	3	4	1	1	1	1
2,583	40.2%	426	1,372	53.1%	2	1	1	1	1	1						
佐伯区(五月が丘・美鈴が丘・三和)	生協さくら病院/デイケア	中央保健			5,906	31.8%	944	2,060	35.5%	3		2		1		
佐伯区(城山・五日市観音)	五日市ヘルパーステーション 訪問看護ステーション/五日市	中央保健 中央保健			4,900	18.9%	918	2,042	41.7%	2	1	5		3	1	
7,969	25.1%	918	3,266	41.0%	5	2	4	1	1	1	2					

図表2：日常生活圏域別3生協の介護事業所配置、基礎情報

(4) 共同事業の先進モデル視察

広島県生協連では、「代理の利かないトップスタディ」というのを開いています。「トップは代理が利きませんから万障繰り合わせて参加してください」と呼びかけて、昨年は青森県生協にお世話になり、「あおりコープフーズ」の視察に行きました。

というのは、視察の報告書の感想は総じて「よかったですよ」と言ってもらえました。ややもすれば、「ご苦労さん」で終わってしまうケースがあるので、トップが実際に見に行き、どういうことをやっていくかを県連でまとめてみようという趣旨で「トップスタディ」の企画をしたわけです。

(5) 3生協共同事業3ヶ年計画

そんな経緯も含めて、今年度から広島県内の医療・購買の3生協の事業連携をスタートさせようということになりました。(図表4参照)

広島県生協連の理事会で提案して、承認された中身を申しますと、県内の医療・購買の生協の事業の連携推進について、①今年、広島医療生協・広島中央保健生協・生協ひろしまによる共同事業3ヶ年計画(ロードマップの作成)を策定します。そして、②介護・福祉分野で具体的な事業化の検討を進めます。生協は、あくまでも事業を通じて組合員貢献と生活の向上をやる場所ですから、活動モデルだけでなく、事業をきちんとできるモデルをつくる必要があります。そのためには体制を整えなければなりません。県連はお金がないので、3生協で出資をしてもらい、③今年、専門職員を1人配置しています。

そして、④3生協のトップが協議会をつくって、進めます。人材育成に関しては、部長クラスが担います。

(5) 2015年度、医療・購買の3生協による事業連携スタート

1. 広島県内の医療・購買生協事業連携推進について
広島県生協連では、加盟の生協による連携を強化し、共同事業化を進めます。当面、2015年度は、広島医療生協・広島中央保健生協・生協ひろしまによる共同事業3ヶ年計画(ロードマップの作成)を策定し、介護・福祉分野での事業化(ビジネスモデル)の準備を進めます。
2. 2015年度広島県生協連体制について
(1)介護・福祉分野での総合事業を進めるため、広島県生協連に専門スタッフを配置します。
(2)広島県生協連が事務局となり、3生協トップ協議会(専務クラス)及び人材育成等を推進する協議会(部長クラス)を随時設置します。
3. 特別会費について
(1)専門スタッフに係る費用(人件費、物件費)は、広島県生協連会費規程の特別会費に基づき、対応することをご提案します。

(2015/4/17 県生協連理事会で提案、承認された議案より)

図表4：3生協事業連携スタート

先日、第1回目の3生協専務会議を開きました(図表5参照)。

基本的な方向性としては、1つめは、日常生活圏域ごとの医療・購買3生協のあらゆる事業(所)、組合員活動の情報を一元集約して、その中から地域(日常生活圏域)ごとの事業や活動の計画を考えていこうということ(図表6参照)。2つめは、地域の中では、組合員は生協の違いをあまり意識せずに活動している事例もあり、地域の中で3生協の組合員と一緒に活動していくことが重要ではないか、ということが出されました。

1つめに関して申しますと、一覧表づくりはたいへんな作業です。たとえば安佐南区(城南)という地域の組合員組織・居場所等の欄を見ると、「組合員さんの『ぬくもりの家』で第4金曜日に食事会をやっているね」といったことが、すべて一覧でわかります。それに加えて、組合員のボランティア活動、NPOの活動、行政の取り組みも一覧にしていきたいと思っています。

行政でも、昨年、問い合わせをしたら、「そんなことはやっていない」ということでした。「でも、日常生活圏域ごとにやろうとしているんでしょう。どのように地域アセスメントをやっているのですか」と尋ねる

と、「いまからこれを参考にさせてもらいます」ということでした（笑）。

今年6月12日に、3生協と広島市高齢福祉課の実務者懇談会を開いて、意見交換をしたところ、課長は「広島市が進める必要があると思うことは、生協が先行してすべて実施されていますね」とおっしゃっています。「すべて」というのはリップサービスですが、私は「生協は、自分たちで動きをつくって自己満足している段階ではなくて、地域からどのように見られているかというレベルに入ってきている」という間

題意識を持っているので、行政ともパートナーシップを持って、やっていきたいと思っています。

まとめ

生協は地域のなかで価値ある存在として認知されることが重要です。そのためには組織（単協）から地域を見るのではなく、地域から生協を見るという視点での生協間の連携が必須であり、県生協連はその調整・推進役としてやっていきたいというのが結論です。

生協は事業をサステイナブルにすることが重要です。先ほどの共同事業3か年計画は、県連に職員を3年間配置しますが、時限爆弾のようなもので、非常にせっかちなやり方をしています。生協に求められているのは実践力です。そして実行力ですから、タスク的な取り組みにしたわけです。新たな事業モデルを構築しようということで、いま3つぐらい考えています。詳細はまだ

申し上げられませんが、新しい事業を考えながらやっているわけです。

そういうわけで、まだ設計図の段階でして、具体的な実践報告ではなく、構想段階で恐縮です。ご清聴ありがとうございました。

2015/6/10 第1回3生協専務会議開催

1. 日常生活圏域ごとの医療、購買3生協のあらゆる事業（所）、組合員活動の情報を集約・一覧にし、その中から地域（日常生活圏域）毎の事業や活動の計画を考えて行こう。購買・ハウジング・葬祭等も。
2. 地域の中では、組合員は生協の違いをあまり意識せずに活動している事例もある。
地域の中で3生協の組合員が一緒に活動して行くことが重要ではないか。

図表5：3生協専務会議

組合員の活動と、購買・小会社事業の事業（所）も一覧に！			
日常生活圏域	生協の介護事業所	組合員組織・居場所等	組合員・ボランティア活動等
安芸南区(城山・北・城南)	もみじ訪問看護ステーション 広島医療 共立よりこ保育園	井井 心の とまり木 診療所1階 川内支部 第4全曜日 独居の方が多く集まっているが、どんなでも参加自由。個別に相談もしている。 おしゃべり会 第4全曜日 第2土曜日 幼児とその保護者 主に関西の梅井地区で、被災者の方々の思いを語る場として開始。地域の方を中心に集まっている。	共立病院 ボランティア 外来ボランティア 23名 種別ボランティア 10名 イベント手伝いなど 12名 回帰期リハビリ指導ボランティア（数人）
安芸南区(安佐・安佐南)	地域包括支援センター 尾中介護支援事業所 生協ひまわりまきお介護支援 障害者相談支援 広島医療 広島医療 ひまわり ひまわり	共立よりこ 保育園 中須支部 組合員さん 第1土曜日	
安芸南区(高取・北・安西)	協同診療所/デイケア デイサービスひまわり ショートステイ 居宅介護支援 ヘルパーステーション虹 広島医療 広島医療 ひまわり ひまわり		
安芸南区(東原・龍岡東)		ふれあい 会食 第3全曜日 第4全曜日 第4月曜日 地域の一人暮らしの方に食事を提供。ように開始したが、今はいろいろな方が来られ80食くらい作っている。 事業開始が、ほんと一息つける場として開始。	ひまわり ひまわり ひまわり デイサービスの利用者様の手伝い 8名 ショートステイの手伝い 2名
安芸南区(城山・長束)			
安芸南区(戸山・津・大塚)	沼田診療所 デイサービス 広島医療	沼田診療 所2階 組 合員さん 第4月曜日 沼田の患者を中心に、どんなでも参加歓迎。	デイサービスでの食事やレクなど 曜日4～5名

図表6：日常生活圏域ごとの3生協組合活動と事業一覧